

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男子・女子 2回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

2

会場 スカイホール豊田A コート

下松工業	35	23 — 8	19	紀北農芸
チーム名	総得点	12 — 11	総得点	チーム名
		7mTC		

全国大会の常連校である両チームは、大会2日目からの登場となった。

スローオフは紀北農芸。立ち上がりからテンポ良く得点を重ねる下松工業に

対して、紀北農芸はノーマークシュートが相手GK1番高光によって何度も

セーブされてしまう。そのチャンスを下松工業は逃さず、10番城平の

サイドシュートや5番松本のポストシュートでさらに得点を伸ばしていった。

前半15分過ぎから攻撃のリズムを取り戻した紀北農芸も、11番地職の豪快な

ミドルシュートで応戦したが、連続得点に結びつけることができず、前半は15点差で

下松工業が大量リードで折り返した。後半、下松工業が1人の退場者を出している間に

二度の3連続得点で盛り返したが、前半のビハインドが響き35-19で下松工業が

勝利した。1番GK高光の好セーブが光ったゲームだった。